

あの時、秋津はー

～熊本地震現地写真展～

A1



〈上沼山津橋で段差に立ち往生の車〉

A2



〈いち早い支援物資に行列〉 本震の16日午後6時ごろの秋津1町内公民館前。各方面からの支援や炊き出しが力となった。

A3



〈大破した家が道路を埋めた〉 本震翌日の沼山津4丁目付近。

A4



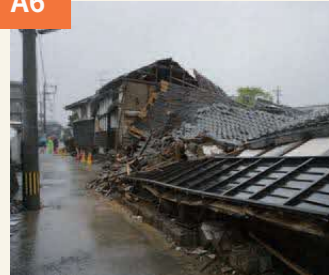
〈跡形もなく崩れ落ちた家並み〉 地震では瓦の重さがあだとなった。

A5



〈あちこちに地割れや陥没〉 通行できないだけでなく、水道管から水が漏れだし断水。

A6



〈無残に大破した塀〉 沼山津4丁目の一帯は長屋門や蔵、黒板壁が続く風情ある通りだったが、残念なことにことごとく倒壊してしまった。明治やそれ以前からの蔵や小屋もほとんどが姿を消した。

A7



〈光輪寺の周辺〉 本震から6日後の21日、災害復旧に派遣された自衛隊を受け入れるため、専任下士官を自治会長と副会長が案内して被災地を回った。

A8



〈自衛隊派遣〉 写真は22日の道路復旧作業。道路が通れるようになったのは被災地には何よりの光明。雨の中、缶詰一つで頑張っていた。

A9



〈小楠公園も大きな被害〉 地区のシンボルである小楠公園の横井小楠公像は台座から外れ地面に落ちた。

A10



〈大破した沼山津神社〉 大きな鳥居は跡形もなく倒壊。再建された鳥居は、旧来の石の土台に継ぐかたちで、笠木など上部は木製で再建した。

B1



〈被災したマンションの解体〉

B2



〈道路をふさぐ電柱と倒壊した家屋〉

B4



〈農機具も鉄くずに〉

B3



〈ごみ集積所は災害ごみであふれた〉 本震翌日のようですが、既に災害ごみでいっぱい。収集車は通れず、山はどんどん高くなっていった。ごみをどう早く処理するかは災害時の大きな問題だ。

B5



〈大破した小屋とトラック〉 小屋がトラックもろとも押しつぶされた。

B6



〈四時軒も跡形なく全壊〉 地盤の特に弱い川沿いとあって跡形もなく倒壊。

B7



〈倒壊前の浄福寺〉 戦国時代からの歴史を誇る浄福寺も本堂・鐘楼が全壊した。

B8



〈封鎖された沼山津入口の交差点〉 家屋の倒壊で通れず封鎖された。

B9



〈墓石も宙に舞う〉 重い墓石が周囲に「散乱」していた。

B10



〈小屋が両側から倒壊〉 両側から倒れ掛かり、道路を完全にふさいだ。

C1



〈大きく崩れた排水路〉 駐車場のカーポートが崩れ落ちた。

C2



〈復興住宅の建設始まる〉 地震から3年後の2019年1月。旧秋津浄化センター跡の一角に、復興住宅の建設が始まった。

C3



〈通路部分が分離したスカイハイツ健軍東〉 廊下が分離するなど大きな被害を受けた。

C4



〈秋津老人憩の家で炊き出し〉 ガス、電気が止まる中での温かい食事はありがたかった。

C5



〈ごみであふれ返った老人憩の家前〉 家庭で保管するよう「後日集めます」が何カ所も書かれている。

C6



〈秋津まちづくりセンターも大きな被害〉 避難所には近くの人が着の身のままで避難してきた。

D2



〈鶯川の護岸工事〉 鶯川の取付道路護岸が傷んだため復旧工事が行われた。撮影は地震から10か月後の翌年2月。

D3



〈ごみは片側に寄せて〉 片側に寄せたことで、緊急車両も安全に通れるようになった。

D4



〈秋津小学校に避難してきた車中泊の車〉 秋津小では、運動場には多くの車中泊の車が詰めかけた。

D1



〈中無田神社に水汲みの列〉 地震直後は全域で断水。湧水が豊富な中無田神社には、飲料水を求めてタンクを抱えた人が長い列を作った。4月19日撮影。

D5



〈秋津小近くの道路には大きな段差〉 こうした光景は町内のあちこちで見られた。

D6



〈道路には大きな地割れができた〉 道路の中央に配水管が走るため、地震の揺れで陥没。秋津1丁目の道路には長さ100mにわたって長い亀裂が生じた。

D7



〈神戸から駆け付けたボランティア〉 阪神大震災の被災地である神戸から、ボランティアが駆けつけてくれた。

D8



〈秋津3丁目公園南側にできた瓦礫の山〉 家具や家電のごみが目立った。

E1



〈ボランティアが配給物資の整理〉 東野1丁目の駐車場では全国から寄せられた支援物資の仕分けに追われた。

E2



〈被害状況を調査する職員〉 調査には全国の自治体から職員が応援に駆け付け、1軒1軒調査して回った。

E3



〈壁面が大破した住宅〉 塀が倒れたり壁が落ちるなど、各所で大きな被害を出した。

E4



〈校舎が大破した東野中は体育館を教室に〉 事前に校舎の耐震補強は行われていたが、耐えきれずに大破。校舎完成は4年後。

F3



〈秋津中央公園に仮設住宅〉 プレハブの54戸が作られ7月5日に入居が始まった。避難所などでの不便な生活から解放された。1DK、2DK、3Kの3タイプで、集会所も整備された。民間アパートも「みなし仮設」として使われた。

G1



〈スーパーも仮設店舗で営業〉 秋津レークタウンのスーパー「マルミヤストア」も駐車場内の「仮設店舗」で営業。

F1



〈倒壊した家屋が通りをふさいだ〉 秋津川から離れるほど地盤は安定したが、一部の家屋は倒壊し、通りをふさいだ。

F2



〈ブロック塀が倒壊、屋根も被害〉 梅雨を前にどの家もブルーシートをかけてしのいだ。

G2



〈道路わきに災害ごみの山〉 地震後はごみの運搬もままならず、長い間放置された。